

# 中国語会話における自己開示について —中国人大学（院）生による初対面会話を例に—

望月 雄介

キーワード 初対面会話 自己開示 話題管理 上位者優位

## 1. はじめに

初対面会話は人間関係を構築する出発点であり、会話参加者が初対面の状況下でどのような話題を提供し、どのように会話を展開するかは、非常に重要なことである。そして、初対面会話の中では自己紹介など、自身に関する情報を提供するのが一般的である。つまり初対面会話において自己開示 (self-disclosure) は会話を組み立てる際に必要であり、会話参加者が自身に関する情報を提供することにより、活発な情報交換が行われ、その結果、人間関係が築き上げられる。

また、自己開示と文化には深い関わりがある。中国と日本では文化が異なり、提供して良い話題や避けられるような話題も異なるため、中国語会話と日本語会話における自己開示の仕方や内容にも違いが見られる。

本稿では、中国人大学（院）生の初対面会話のデータを使い、三牧（2013）の研究方法を基礎として、中国語会話における自己開示の特徴を分析し、さらに、日本語母語話者の会話との違いを考察する。

## 2. 先行研究

自己開示の研究は心理学の分野で発展し、その後、言語学の分野においても焦点が当てられ、現在では個別言語における談話レベルでの研究や対照言語学分野での研究も行われている。言語学における自己開示研究は、各研究者によって定義の仕方や研究内容、方法も異なる。

### 2.1 唐瑩（2015）の研究

唐瑩（2015）は中・日大学（院）生の会話データを使用し、初対面会話での自己開示の分析を行っている。個人情報、経験、事実などの内容を主とする客

観的自己開示と心情、評価、見解、意見などの内容を主とする主観的自己開示とに分け、中国語母語話者は主観的自己開示が多く、日本語母語話者は客観的自己開示が多いと述べている。話題選択についても中国語母語話者と日本語母語話者の間で違いがあることを示している。さらに、主観的自己開示に関して、両母語話者の開示の仕方が異なることも指摘している。中国語母語話者は感情を語る表現が豊富であり、相手に合わせることなく自己開示するのに対し、日本語母語話者は過去の心情を引用するなどして、相手との会話の中に感情を取り入れ、協同的に開示することが多いと述べている。

## 2. 2 岩田 (2015) の研究

岩田 (2015 : 39) は自己開示を「自分の個人的情報や体験、考え、感情などを会話の中で相手に伝えようとする言語的行動 (linguistic behavior to express and try to convey others one's own personal information and experiences, thoughts and feelings during a conversation)」と定義し、日本語会話 5 本と英語会話 15 本 (イギリス、アメリカ、オーストラリア各 5 本) の会話データを使用して、日・英語初対面会話における自己開示の機能について分析している。英語会話では、話し手が自己紹介場面において自己開示を積極的に行い、また、会話中では聞き手の役割も重要であり、聞き手は質問やコメントなどをして、話し手の自己開示を促すという特徴が見られる。さらに、自己開示の内容について、話し手は失業、仕事方面、学業方面での苦労や困難、不安などといった「負の情報」も開示する傾向があると述べている。これに対して日本語会話は英語会話と異なり、話し手は自己紹介場面で積極的に自己開示を行わず、さらに、他の会話参加者も話し手に対して質問などせず、詳しい情報の提供を促すこともないため、自己開示の程度は英語会話に比べて小さい。また、聞き手の役割が日本語会話と英語会話では異なり、日本語母語話者の聞き手はあいづちを打ちながら相手の意見を聞くという特徴も見られる。日本語会話の自己開示の内容については「負の情報」が現れることはないと述べている。

日・英語会話における自己開示の特徴について、話し手が自身の情報を提供した後、聞き手も話し手の話題に関連した自分の経験などを提供するといった、話し手へのラポールを示す聞き手の自己開示を共通点として指摘している。

以上から、日・英語初対面会話における自己開示には (1) 距離を縮める機能、(2) アイデンティティの構築としての機能、(3) 話し手へのラポールを示す機能、(4) 会話を発展させる機能という 4 つの機能があるとまとめている。

## 2. 3 三牧 (2013) の研究

三牧（2013）は日本語母語話者大学（院）生 20 組（男子 10 組、女子 10 組）の会話を基に、自己開示について分析している。会話参加者は同性の 2 名で、会話参加者間には学年差が設定され、話題設定無しの初対面会話を調査対象としている。三牧（2013：191）では自己開示を「自己に関する情報を提供する行為」と定義し、情報の「要求」と「提供」や、ある話題に関して会話参加者双方が自己開示をする「対称的な」情報交換パターンと会話参加者の一方は自己開示をするが、もう一方は自己開示しないという「非対称的な」情報交換パターンという観点から、日本語母語話者大学（院）生の自己開示を分析し、以下 4 つの自己開示の特徴があると述べている。

- (I) 男性上位者のみに観察された支配的課題管理
- (II) 男性上位者のみに観察された一方的情報提供
- (III) 女性上位者の協調的導入質問による課題管理
- (IV) 女性下位者による積極的課題管理

支配的課題管理とは、話し手が一方的に、又は、強引に談話を展開することであり、一方的情報提供とは、話し手が自発的に話題を導入し、一方的に情報を提供することである。協調的導入質問による課題管理とは、話し手が支持的な発話を織り交ぜ、話題を導入・方向づけることであり、積極的課題管理とは、話し手が積極的に新たな話題を導入し、会話の話題を管理することである。

以上の 3 つの先行研究では、会話参加者の自己開示の内容や方法について述べられているが、中国語会話における自己開示についての論文は唐瑩（2015）以外あまりないようである。よって、本論文では岩田（2015）の自己開示の定義を使い自己開示か否かを判断し、三牧（2013）の枠組みを参考にして、中国語母語話者大学（院）生がどのように自己開示を行うのかを調査する。

### 3. 調査

#### 3.1 調査会話

調査は 2015 年 7 月 6 日に名古屋大学で行い、会話参加者は全て中国人大学生または大学院生である。表 1 は会話参加者の情報であり、A と B、C と D がそれぞれの会話のペアである。この調査では、中国人の女性同士、且つ年齢差有りの初対面会話でどのように自己開示がされるのかを明らかにすることを目的とするため、会話参加者がお互いパーティー会場で初めて会ったという場面を設定した。そして、表 2 は調査会話に関する説明である。

30分の自由会話終了後、それぞれ個別にフォローアップインタビューを行い、(1) 30分の会話が全体的に自然であったか、(2) 会話の中で不自然に感じたところはあったか、(3a) (不自然に感じたところがある場合) どんな時に不自然に感じたか、(3b) なぜ不自然に感じたか、(4) 会話の中で聞き手に対して配慮したことはなにか、(5) 会話の中で困ったことはあったかという質問をした。

発話者	出身地	学年
A	内蒙古	博士3年
B	上海	学部2年
C	天津	修士2年
D	河南	学部2年

表1 会話参加者

場面	初対面
人数	2人
時間	30分
性別	同性(女性)
上下関係	年齢差
話題設定	なし(自由会話)

表2 調査会話

### 3. 2 文字化の規則

本論文で使用する文字化記号は次の通りである。

- 。 語尾の音が下がり、区切りがついたことを示す。
- 、 短いポーズを示す。
- (秒) 沈黙の秒数を示す。
- ? 語尾の音が上がることを示す。疑問文とは限らない。
- / 同時発話の始まりを示す。
- …… 中略を示す。
- ×× 特定の個人情報を示す。(個人情報保護のため)

- : 「:」の前の音節が長く延ばされ、「:」の数が多いほど長く発せられたことを示す。
- { } 非言語行動を示す。

## 4. 結果

### 4. 1 全体像

まず始めに今回行った調査会話の全体像を見てみる。会話の状況を把握する必要があるので、ここでは発話量<sup>1</sup>と発話交替を表示する。

	発話者	発話量	発話交替
会話 1	A	5,711 (79.2%)	93
	B	1,501 (20.8%)	92
	合計	7,212 (100%)	185
会話 2	C	3,245 (46.5%)	128
	D	3,733 (53.5%)	132
	合計	6,978 (100%)	260

表 3 会話の全体像

会話 1 では A と B の発話量に差があり、A の発話量が圧倒的に多い。A がある話題を提供してから、次から次へと話題を転換し、会話を盛り上げるという特徴があった。そして、B はあいづちを多く打ちながら、A の質問に時々答えるが、すぐに質問をして発話権を相手に譲ってしまうことが多かったため、発話交替の数では差が見られないが、発話交替の内容が A と B では全く異なった。さらに、A は沈黙が起きた際に、発話権を取り、話し始める傾向があったが、B は主に割り込み失敗による発話交替が多かった。A の 1 発話がとても長いことから B は何とかして A の発話に割り込もうとするが、すぐに発話権を取るのをやめた。A が年上ということもあり、B は A に配慮したと考えられる。

会話 2 の C と D では、割り込みやオーバーラップは少ない。お互いが話し終わるまで発話権を行使せず、相手の発話が終了してから発話交替が行われている。沈黙が起きた際に下位者の D が発話権を取った場面があったため、D の発話交替が若干多くなった。

なお、会話参加者にはお互いの年齢を伝えていない。会話 1 のフォローアップインタビューで B は、「自分の年齢が若く、A の容姿や話し方から、会話開

始直後に自身が下位者だと思った」と答え、Aも「自分は博士課程の学生だから、会話開始直後に自身が上位者だと思った」と答えた。一方、会話2のCとDは会話開始直後の自己紹介で共に年齢差を認識した。

#### 4. 2 フォローアップインタビューのまとめ

会話1でのAの発話量が多かったことに対してAは自ら指摘したが、会話全体は不自然ではなかったと答えた。Bは自身も多く話したかったが、Aが年上ということもあり、遠慮したと答えた。そして、一方的にAが情報を提供したことに関して、Aは気付かなかったと答え、Bも何も不自然に感じなかったと答えた。

会話2では、オーバーラップや割り込みが少なく、相手の話をしっかりと聞きながら発話していたことに関して、Cは自身が日本語の影響を受けている可能性があり、会話全体が少し不自然だったと答え、DもCの答えと同様に、会話全体が中国語の会話ではないような気がしたと答えた。

会話1と会話2では、自然な会話だったかどうかという点で差が見られた。

#### 4. 3 自己開示の量的分析

次に自己開示が行われた回数を示す。自己開示情報の数え方に関しては、「1小話題<sup>2</sup>に関して各会話参加者が自己に関する情報を提供したか否かのみを問題にし、その中で提供されたより詳細な情報は数え上げない」(三牧 2013:193)とする。自己開示の回数は以下の表4で示す。

会話	発話者	回数	割合
会話1	A	36	73.5%
	B	13	26.5%
	合計	49	100%
会話2	C	24	64.9%
	D	13	35.1%
	合計	37	100%

表4 自己開示回数

2組とも上位者(AとC)の自己開示回数が下位者(BとD)の回数を上回っ

ている。これは一体何を意味するのだろうか。自己開示内容については2組共に自己紹介から始まり、会話開始後5分ぐらいまでの間にいずれの会話参加者も名前、所属、学年などの自己開示を行った。会話の序盤では上位者と下位者の自己開示の回数はおおよそ同じで、自己開示の内容も以下のようにほぼ対称的となっている。(下線部は自己開示を表す。)

(1) 自己紹介の場面において

01 D 你好。

[こんにちは。]

02 C 你好。哎？你是哪个大学的？

[こんにちは。あ、どこの大学から来ましたか？]

03 D 我是那个××大学的。然后交换到这儿来的留学生。 現在の所属

[私は××大学から来ました。交換留学生として来ました。]

04 C 噢、那：你在日本呆多久啊？

[日本にはどれくらい居ますか？]

05 D 一共一年、然后现在已经呆了三个月了。你呢？ 留学期間

[一年間です。もう三ヶ月が過ぎました。あなたは？]

06 C 我是：大学毕业以后来日本的。然后在这边呆了很多年 留学期間

然后、我是去年考到××大学的。 現在の所属

[私は大学を卒業してから日本に来ました。日本には結構居て、去年××大学に入学しました。]

07 D 你现在读什么呀？

[今は何を専攻していますか？]

08 C 我现在读就是现代汉语。 現在の専攻

[今は現代中国語を専攻しています。]

#### 4. 4 自己開示の質的分析

女性中国語母語話者における自己開示について、三牧(2013)が述べた(I) 支配的課題管理、(II) 一方的情報提供、(III) 協調的導入質問による課題管理、(IV) 積極的課題管理という観点から分析する。

##### 4. 4. 1 女性上位者による支配的課題管理

三牧(2013)において、支配的課題管理は男性のみの特徴であった。会話2では、支配的課題管理が見られなかったが、会話1では、上位者Aによる支配的課題管理が見られた。

(2) 中国のある場所で働くことになったことを話題とした会話

- 01 A 中国也只有一个、我就跟家人说了、我爸他觉得你行吗？……然后但是我妈妈她说行、你既然要是工作稳定啊、你就别去留学了/多好啊。

働く時の家族との話（過去の経験談）

[中国にも（働く予定の職場は）一つしかなく、すぐ家族に話しました。  
お父さんは大丈夫か？とっていて、……お母さんは、大丈夫よ、もし  
仕事安定したら留学に行かなくていいんだから、いいことじゃないと  
言いました。]

- 02 B /对、对啊、我也觉得。 意見提示

[そうですね。私もそう思います。]

- 03 A 事实上那个××里的人也很好、……都是不过他们除了、日本人就是上海人、好像就有两个外地人就有我一个、……然后我、他们天天不是说日语就是说上海话嘛。……大概半年以后我可以跟他们说上海话了。……你会说吧？

以前の職場環境や同僚について

[実際に、××（職場）の人はとてもいい人達で、……日本人以外は上海の人で、たしか他の地方の人が二人いたような。その中の一人は私  
で、……みんなは毎日日本語ではなくて上海語を話していました。…  
…大体半年後にはみんなと上海語で話せるようになりました。……話  
せるよね？]

- 04 B 嗯、嗯、/我听得懂我听得懂。 能力開示

[はい。（聞いて）分かりますよ。]

- 05 A /你听得懂吧？

[分かるでしょ？]

- 06 A ……我说（上海话）。

[……「上海語」を言う。]

- 07 B 哦哦、你说得好巧啊。

[おお、とても上手です。]

- 08 A ……最难忘的一件事情就是（2.5）那个忘年会的时候和那个、日本驻上海总领事、……然后是大家必须要抽签儿坐、一个日本人对一个中国人、大家都抽的是一般的、我就抽到总领事 {笑う} 哎哟我紧张得不得了。……结果坐在总领事的对面我都不敢吃、然后人家说、你快给总领事倒酒啊倒酒、结果一倒吧、把总领事的杯子打翻了 {笑う} ……当时我很紧张、……然后他问我「最近仕事忙しいですか？」、「う



んうんうん、おいしい、おいしい」……

**以前の失敗談**

[……一番忘れられない出来事は、忘年会の時に在上海日本国総領事館の総領事と……みんなくじを引いて座らなければならなかったんです。日本人一人と中国人一人、みんなは普通の席を引きましたが、私だけ総領事の隣を引いてしまったんです。はあ、とても緊張して……総領事の対面に座ったのはいいですが、食べ物が喉を通りませんでした。その後、別の人が総領事にお酒を注いだと言ったので、注いだところ、総領事のグラスをひっくり返してしまいました。……あの時はとても緊張していたし……その後総領事は私に「最近仕事忙しいですか?」と尋ねました。私は「うんうんうん、おいしい、おいしい」と答えました。……]

この場面において、AはBの質問に支えられて自己開示を行うのではなく、自発的に自己開示を行いながら話題を管理し、自分が話したい話題へと導いていった。さらに、会話の序盤には、Aが一人で10分以上も話し続け、支配的に話題を管理していた場面もあったため、この会話では、上位者Aが支配的に話題管理をしていることがわかる。

Aに対するフォローアップインタビューの中で、話し続けたことに関して不自然ではなかったかという問いに対して、Aは「少し多く話したと感じたが、特に不自然ではなかった」と答えている。Aは自己開示を自発的に多く行い、自分が話したい話題へと導いて、会話の主導権を握ったと言ってよい。

それに対して、CとDの会話2では、支配的に話題を管理している場面が見られなかったが、Cはフォローアップインタビューの中で、話題管理について少し言及している。Cは自分自身、少なからず日本語の影響を受けたと認め、さらに、どこに反映されていたかという問いに対しては、「普段の会話では言いたいことを言うが、初対面の相手なので、相手の話をしっかり聞いてから話した」と答えたため、Cは相手の話している話題や話し終わるタイミングなどに配慮しながら発話交替を行ったと言える。そのため、会話2では支配的に話題を管理した場面が見られなかった。

#### 4. 4. 2 女性上位者による一方的情報提供

三牧(2013)において、一方的情報提供は男性上位者のみの特徴であったが、会話1と会話2共に女性上位者が一方的に情報を提供する場面があった。

(3) 日本に来る過程や大学院受験などについての話題

01 B 那、后来为什么会要来日本呢？

[じゃあ、その後なぜ日本に来ることになったのですか？]

02 A ……我的想法是那个大学、上了大学以后我就想以后继续考研究生、……如果我考不上研究生之类的、即使那样我也没有想过来日本  
因为我、怎么说、…… 過去の考え

然后我就考(1.4)考了两次那个、××大学、第一次是、分数线、…  
… 受験に関する事実

[……私は、大学を出た後は大学院を受験しようと思っていました。…  
…たとえ大学院が不合格でも日本に来ることは考えていなかったです。  
どうやって言ったらいいのかな、……その後私は二度××大学を受験  
して、一度目はボーダーラインを……]

03 A ……第二次是因为分数线过了、但是复试没有通过。……

過去の事実

[……二度目はボーダーラインを超えたんですが、二次試験は不合格で  
した。……]

04 B 就是研究生吗？

[大学院ですか？]

05 A 对、研究生。

[そうです。大学院です。]

06 A 我想教汉语、教做对外汉语的老师。

将来の願望

[外国人に中国語を教えたいです。]

07 A ……初试我超过了好几十分我觉得我肯定能考上……把我的那个、行  
李衣服、因为我的表妹在那儿、读书、我就是说东西放你这儿吧。{二  
人で笑う}……最后就没有我的名字、……人生中最难过的事情吧。{二  
人で笑う} 受験時の体験談

[……一次試験は何十点もボーダーを超えていたので、必ず合格する  
と思っていました。……従妹がその大学に通っているの、自分の荷物  
や服を置いていくと話していました。……最終的に、私の名前はあり  
ませんでした。……人生の中でも最もつらい出来事でした。]

08 B 然后后来、后来呢？

[その後は？]

09 A ……因为我现在结婚了、我丈夫在上海。

結婚に関する情報

[私は現在結婚していて、夫は上海にいます。]

- 10 A ……我说我还要考一次 {笑う} 他说、不要了你能不能再考了 (2.4) 我于是后来他说你还是应该去国外、 過去の体験  
 ……我就发现那个××在招人、招那个就是中国人职员……招聘最后一天、如果你愿意的话请把什么什么什么什么简历……寄到我们这儿……我有一天在干什么……他给我打了个电话说、你来面试……然后我进去了、进去了之后、然后什么面试啊、笔试啊…… 就職過程  
 [……私はまた受験するつもりだと言いましたが、彼はもう受験しない方がいいと言い、さらには私に国外へ行くべきだと言いました。……私はすぐに××(職場)が人を募集していると知りました。……募集の最終日、応募するのであれば履歴書や……を送って下さい(と書いてあったので)、……ある日何をしていたのかは覚えていませんが、……職員の方が電話で面接に来て下さいと言ったんです。……私は××(職場)の中へ入り、面接や筆記試験など……]

BはAに対し情報の提供を要求しているが、AはBの要求以上に自身の情報をBに提供している。結果的に一方的な情報提供になってしまったことに関してAはフォローアップインタビューで、「言いたいことがたくさんあって、忘れてしまう前に言おうと思った」と答えた。AはBに比べ人生経験が多く、多くの事をBに伝えたいという思いから、一方的な情報提供となり、さらには会話の主導権を握ったのであろう。

会話2においても上位者が一方的に情報を提供する場面が見られた。

#### (4) 卒業後についての話題

- 01 C ……因为我当初也是想过在这边就是、念完博士以后当老师、然后我想既然要留在这边的话就没有必要念日语了。 過去の見解  
 [……当初も、日本で博士課程を修了した後は教師になると思っていました。そして、日本に残るのであれば、もう日本語を専攻する必要がないと思っていました。]
- 02 D 啊:、也是。  
 [ええ、そうですね。]
- 03 C 然后我就这么想、可没想到、现在又、不怎么想念博士了。 現在の心境  
 [このように考えていたんですが、今は違って、そんなに博士課程に進学したくありません。]
- 04 D ……你以后想、因为你日语已经学好了、然后就想以后留在这边教日

本人的汉语？

[……今後、日本語を習得したので、日本に残って日本人に中国語を教えることは考えていますか？]

- 05 C (2.0) 啊:、教日本人汉语的话问题是现在教汉语的很多、很多公司不给签证。

[ああ、日本人に中国語を教えるとなれば、今は中国語を教えている人がたくさんいるし、多くの会社はビザを与えないことが問題です。]

- 06 D 啊:、对。

[ああ、そうですね。]

- 07 C 然后就想还是回国吧、回国、我还是比较喜欢做翻译、但是我比较倾向于做笔译、然后、想要不进一个专门的翻译公司。

現在の就職に対する考え

[考えたんですが、やっぱり帰国することになりました。私は通訳ではなく、やっぱり翻訳が好きで、翻訳を専門とする会社に入社しようとも思いました。]

- 08 D 啊:、好厉害。

[すごいですね!]

- 09 C 没有没有没有、就是在这边耗了好久好久浪费了很多时间。

[そんなことないです。日本で無駄な時間をたくさん過ぎてしまいました。]

- 10 D 可是现在都学好了呀、日语也学好了、然后又在这边又进修了中文、像我们现在、还是本科阶段、日语还没学好呢。

[でも、すでに習得したじゃないですか。日本語も習得したし、日本で中国語も専攻しているじゃないですか。私たちのような学部生は、まだ日本語が習得できていないです。]

- 11 C 感觉日语的话就是呆的时间长啊、自然而然的就。

日本語習得に対する考え

[日本語であれば、日本に長く滞在すれば自然と習得できると思いますよ。]

(中略)

- 12 C 但汉语也是越学越难的、都不简单。

[でも、中国語も学べば学ぶほど難しく、簡単ではないです。]

- 13 D 对、然后我们上那个、……有一个课就是跟日本人学生一起上的、就翻译嘛。……然后经常交流一些……

自身の体験

[そうですね。私たちはあの一、……その授業は日本人学生と一緒に受

けていて、翻訳をしています。……よく学生間で交流をします。……]

この会話においても上位者 C による一方的情報提供 (01・03・07・11) が行われている。しかし、例 (3) の上位者による自己開示の方法とは異なっている。例 (3) では A が自発的に自己開示を行っているのに対し、C は D のあいづちや“对”、“好厉害”などの肯定的発言 (02・06・08・10) 及び、質問による話題の導入 (04) に支えられて自己開示を行っている。

会話 1 と会話 2 において、一方的に情報を提供する場面は見られたが、談話の展開上 2 つのタイプが存在することが分かった。

#### 4. 4. 3 協調的導入質問による話題管理

三牧 (2013) では、女性日本語母語話者上位者の協調的導入質問による話題管理が特徴であると述べている。今回の調査においても、上位者が質問して新たな話題を提供しながら会話の話題を管理する場面が見られたが、同様に、下位者が上位者に対して質問しながら話題を提供し、上位者に情報提供を促す場面も見られた。

(5) 同上

01 C ……因为我当初也是想过在这边就是、念完博士以后当老师、然后我想既然要留在这边的话就没有必要念日语了。 過去の見解

02 D 啊:、也是。

03 C 然后我就这么想、可没想到、现在又、不怎么想念博士了。

現在の心境

04 D ……你以后想、因为你日语已经学好了、然后就想以后留在这边教日本人的汉语?

05 C (2.0) 啊:、教日本人汉语的话问题是现在教汉语的很多、很多公司不给签证。

06 D 啊:、对。

07 C 然后就想还是回国吧、回国、我还是比较喜欢做翻译、但是我比较倾向于做笔译、然后、想要不进一个专门的翻译公司。

現在の就職に対する考え

08 D 啊:、好厉害。

09 C 没有没有没有、就是在这边耗了好久好久浪费了很多时间。

10 D 可是现在都学好了呀、日语也学好了、然后又在这边又进修了中文、像我们现在、还是本科阶段、日语还没学好呢。

- 11 C 感觉日语的话就是呆的时间长啊、自然而然的就。

日本語習得に対する考え

(中略)

- 12 C 但汉语也是越学越难的、都不简单。  
 13 D 对、然后我们上那个、……有一个课就是跟日本人学生一起上的、就翻译嘛。……然后经常交流一些……

自身の体験

この会話は例(4)に示した会話例である。上位者Cは一方向的に情報を提供しているが、このきっかけを作ったのは下位者Dである。Dは02・06・08・10で協調的な態度を示し、04でCに対して質問をし、新たな話題を提供している。結果、Dによって次に展開される話題が定められ、CはDの質問に沿って情報を提供している。

(6) 卒業後についての話題

- 01 B ……毕业了以后以后要干吗呢?  
 [……卒業後はどうしますか?]  
 02 A 我想当老师。 就職について  
 [教師になりたいです。]  
 03 B 在日本当对外汉语的老师吗?  
 [日本で中国語教師になるんですか?]  
 04 A 也可以、或者是回国当对外汉语的老师也可以、我希望在日本能找到一个对外汉语的老师的工作。 就職について  
 [それでもいいですし、中国に戻って中国語教師になってもいいです。でも、日本で中国語教師の仕事に就きたいです。]  
 05 B 那这样、{笑いながら} 那你的老公怎么办。  
 [そうなると、旦那さんはどうなりますか?]  
 06 A 对呀他:他那个他答应我、他说他要来……  
 [そうなんです。彼は(そのことを)受け入れてくれて、こっちに来ると言っています……]

この会話も例(5)と同様に、下位者Bが上位者Aに対して質問をしながら(01・03・05)話題を提供し、AはBの質問に沿って自分の情報を提供している。

例(5)と例(6)は下位者が上位者に質問して、新たな話題を提供し、会話の話題を管理する会話であるが、例(7)はこれと異なり、上位者が下位者に対

して質問をし、話題を管理する会話である。

(7) 卒業後についての話題

- 01 C 啊:、那你们现在是在国内就相当于大二大三还是  
[ああ、じゃあ今は中国でいう大学二年生?三年生?それとも、]
- 02 D 大二。 学年  
[大学二年生です。]
- 03 C 大二啊。  
[大学二年生ですか。]
- 04 D 但是现在到这儿来、就成了大一了。然后 学年  
[ただどこここに来て大学一年生になりました。そして、]
- 05 C 那那你们是毕业以后、打算去、留在北京还是  
[じゃあ卒業したらどこかへ行くの?それとも北京に居るの?]
- 06 D 嗯:、我是打算到时候看、……我觉得、现在本科工作不好找、还是得  
我还是得想考研的事。 卒業後の考え  
[うーん、その時に考えるつもりで、……今は大学を卒業しても仕事  
見つかりにくいと思うので、大学院受験のことも考えないといけません  
です。]
- 07 C 啊:、好学校像你们××大学也不错好学校也不好找吗?  
[ええ、××大学のような良い大学でも(仕事)見つからないの?]
- 08 D 但是你知道在北京好学校又多呀。  
[知っていると思いますが、北京には良い学校がたくさんあるんですよ。]

三牧(2013)における調査では、女性上位者の協調的導入質問による話題管理という特徴があると述べられているが、会話1や会話2においてもこの特徴は多数見られた。協調的導入質問による話題管理という特徴において、今回の調査ではあまり中日の差は見られなかったが、中国語会話において、女性下位者の協調的導入質問による話題管理も多数存在することが分かった。

また、(IV) 積極的話題管理という特徴に関して、今回の調査では一つも見られなかった。

## 5. おわりに

三牧(2013)における女性日本語母語話者の会話では(I) 支配的話題管理や(II) 一方的情報提供といった、会話の主導権において「上位者優位」のそ

タイトルは現れなかったが、女性中国語母語話者の会話では、「上位者優位」の会話スタイルが現れたため、女性中国語母語話者と女性日本語母語話者の間では、自己開示の方法が異なると分かった。そして、(Ⅲ) 協調的導入質問による話題管理という特徴においては、三牧 (2013) の調査と同様に、女性中国語母語話者の会話中にも現れたが、(Ⅳ) 積極的話題管理については、今回の調査で現れなかった。

会話例は少ないが、会話 1 と会話 2 の全体を通してみると、上位者が先に自己開示を行い、下位者がその後自己開示を行うという場面が多数あり、自己開示において、上位者優位の傾向があると分かった。

本論文では触れられなかったが、自己開示の内容や上位者と下位者の自己開示のバランス、さらに中国語会話における自己開示と会話の主導権との関連性などの問題については今後の課題とする。

## 注

- 1 発話量については文字数を基本単位とする。
- 2 「話題がさらに階層的な構造を示す場合、上位話題を大話題、下位話題を小話題と称す」(三牧 2013 : 14)。

## 参考文献

- 岩田祐子「日・英語初対面会話における自己開示の機能」津田早苗・村田泰美・大谷麻美・岩田祐子・大塚容子 著『日・英語談話スタイルの対照研究』、三十七頁～九十一頁、ひつじ書房、2015年。
- 唐 瑩「初対面の相手に対する自己開示の中・日対照研究—中・日大学(院)生同士の会話データをもとに—」『日中言語対照研究論集』第17号、百七頁～百二十二頁、白帝社、2015年。
- 三牧陽子『ポライトネスの談話分析 初対面コミュニケーションの姿としくみ』、くろしお出版、2013年。